

早稲田大学出版部

KD0331 2022年2月

<早稲田大学ブックレット「震災後」に考える>シリーズ

■東日本大震災の記録、支援を通し 改めて、震災考える■

<h3>震災後に考える</h3> <p>早稲田大学震災復興研究協議会編集委員会編 監修▶藤田 薫</p> <h2>東日本大震災と向きあう</h2> <h1>92</h1> <p>の分析と提言</p> <p>私たちが4年間に考えつづけたこと</p> <p>忘れ 行動する！</p> <h3>災害時にこそ問われる 学級経営力</h3> <p>著者▶三原 隆 河村茂雄 監修</p> <p>「震災後」にもあつた</p> <p>教室のみんなで支え合った</p> <p>001</p>	<h3>災害に強い電力ネットワーク</h3> <p>電力ネットワークの発展</p> <p>002</p>	<h3>東日本大震災とコンビニ</h3> <p>コンビニが被災地を救った</p> <p>003</p>	<h3>3.11津波で何が起きたか</h3> <p>津波の被害と復興</p> <p>004</p>	<h3>地方自治体は重い負担に耐えられるか</h3> <p>地方自治体の負担</p> <p>005</p>	<h3>拡大する放射能汚染と法規制</h3> <p>放射能汚染の拡大</p> <p>006</p>	
<h3>早く確かな救援のために</h3> <p>災害救助隊の派遣</p> <p>017</p>	<h3>新聞は大震災を正しく伝えたか</h3> <p>新聞の報道と被災地</p> <p>018</p>	<h3>東日本大震災と環境汚染</h3> <p>震災後の環境問題</p> <p>019</p>	<h3>ともに生きた伝えた</h3> <p>被災者の声と復興</p> <p>020</p>	<h3>フクシマ原発の失敗</h3> <p>原発事故の教訓</p> <p>021</p>	<h3>災害に強い社会をつくるために</h3> <p>防災意識の向上</p> <p>022</p>	<h3>復興に女性たちの声を</h3> <p>被災女性の活躍</p> <p>023</p>
<h3>あの日私たちは東北へ向かった</h3> <p>震災ボランティア</p> <p>024</p>	<h3>ジャーナリズムの「いま」を問う</h3> <p>報道の役割と未来</p> <p>025</p>	<h3>風化と闘う記者たち</h3> <p>震災報道の継承</p> <p>026</p>	<h3>原発政策を考える3つの視点</h3> <p>エネルギー政策</p> <p>027</p>	<h3>震災後に読む文学</h3> <p>震災を題材とした文学作品</p> <p>028</p>	<h3>津波被災地の500日</h3> <p>被災地の現状と課題</p> <p>029</p>	<h3>ふくしま・震災後の生活保障</h3> <p>被災者の生活支援</p> <p>030</p>
<h3>ガジュマル的支援のすすめ</h3> <p>被災地支援のあり方</p> <p>031</p>	<h3>ともに創る！まちの新しい未来</h3> <p>復興まちづくり</p> <p>032</p>	<h3>復興まちづくりに文化の風を</h3> <p>文化復興の重要性</p> <p>033</p>	<h3>原子力規制委員会の社会的評価</h3> <p>規制委員会の役割</p> <p>034</p>	<h3>フクシマから日本の未来を創る</h3> <p>被災地再生と未来</p> <p>035</p>	<h3>大災害時に物流を守る</h3> <p>防災物流の重要性</p> <p>036</p>	<h3>東京湾岸の地震防災対策</h3> <p>都市防災の課題</p> <p>037</p>

NO	書影	著者	Product ID	〈早稲田大学ブックレット「震災後」に考える〉シリーズ No	底本刊行年月	フォーマット	同時アクセス1 本体価	同時アクセス2 本体価	同時アクセス3 本体価
		書名	ISBN	内容紹介					
1		河村茂雄【編著】	KP00009378	1	201111	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		災害時にこそ問われる 学級経営力 岩手・三陸編	9784657113016	悲しみのなか、子どもたちを支えたのは日常と変わらない学校生活。そして友人たちとの関わりだった―学校、学級の再建に向けて取り組んだ岩手県教師たちの記録。					
2		横山隆一【編著】	KP00009379	2	201111	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		災害に強い電力ネットワーク	9784657113023	被災地の復旧困難、首都圏の計画停電、全国での節電努力など、大地震と原発事故によって世界に誇る日本の電力システムに何が起きたのか。再生可能エネルギーや地産地消型電力網への期待を現実にするために、不可欠の先端技術をやさしく紹介する。					
3		川辺信雄	KP00009380	3	201111	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		東日本大震災とコンビニ	9784657113030	折り重なる瓦礫のなかで仮設住宅に店舗をつくり移動販売車を走らせ、モノとサービスを提供しつづけた人々への共感をこめて、コンビニ研究の権威がつづる六カ月の観察記録。					
4		柴山知也	KP00009381	4	201112	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		3.11津波で何が起きたか	9784657113047	構造物だけではいのちを守れない。最後の砦の防潮堤が破壊され激流が町や人々を襲った。従来の研究を根本から問い直す巨大津波の実態。沿岸防災に必要なものは何か。十分な科学的根拠と地域の視点から将来に備える。					
5		小林麻理【編著】	KP00009382	5	201112	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		地方自治体は 重い負担に耐えられるか	9784657113054	大震災の被害に立ち向かう自治体の財政は厳しく、行政力には限りがある。企業・NPO・市民など、民間の力を集める調整役としての自治体の新しい機能を豊かな実例で示す。					
6		日置雅晴	KP00009383	6	201112	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		拡大する放射能汚染と法規制	9784657113061	日々明らかになりつつある放射能汚染の実態。この国の政府・国会は私たち市民のいのちをどのように守ろうとしているのか。日弁連原子力PTメンバー弁護士が、法制度の現状と問題点を明らかにする。					
7		加藤基樹【編著】	KP00009386	7	201112	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		0泊3日の支援からの出発	9784657113092	被災地の厳しい状況が連日伝えられるなか、何かをしなればというひたむきな思いに突き動かされた若者たちがいた。ボランティア先でのさまざまな体験、その後の心の変化をつづった記録集。					
8		鈴木興太郎須賀晃一河野勝金慧	KP00009384	8	201201	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		復興政策をめぐる《正》と《善》	9784657113078	被災者の「日常」を再建し、人々の権利・主体性を大切にしつつ、長期にわたる復興政策を正しくつくりあげるために不可欠の共通理解を探る。経済学・政治学をはじめ、現代の哲学・思想の原点に遡って徹底的に考える。					
9		水島朝穂	KP00009385	9	201202	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		東日本大震災と憲法	9784657113085	震災後間もなく福島第一原発二〇キロ圏の南相馬市から大槌町吉里吉里地区まで八〇〇キロにわたる現地取材を敢行。憲法に基づく「人権」「平和」「自治」による復興への課題と展望を一憲法研究者が歩き、考え、書きつづる。					
10		岩井雪乃【編著】	KP00009398	10	201202	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		学生のパワーを被災地へ！	9784657123015	一刻も早く、そして一人でも多くの支援を実現するため短期間に多くの学生を安全に被災地へ送り込む。この難題に取り組んだ早大ボランティアセンター、通称WAVOCおよび早稲田大学の教職員たちによる試行錯誤と創意工夫の軌跡。					
11		中川武 早稲田大学中川研究室【編著】	KP00009402	11	201204	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		文化遺産の保全と復興の哲学	9784657123053	長い歴史のなか、東北の人々は津波をはじめとする自然の脅威に幾度となくさらされてきた。東北各地に残る神社仏閣などの建築物、神楽、祭り、伝承の数々。そこに込められた自然との調和の思想、安全なまちづくりに向けていま、古人の知恵に学ぶ。					
12		本田恵子【編著】	KP00009399	12	201204	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		被災地の子ども心に寄り添う	9784657123022	恐怖と悲しみ深い傷を負った子どもの心に、おとなはどう向き合えばよいのか。さまざまな問いにカウンセラーがこころを込めて答える。					
13		高木秀雄	KP00009400	13	201204	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		三陸にジオパークを	9784657123039	大震災の記憶を刻む大地の公園を創ろう。地球との共生を学び、自然災害に備える知恵を日本列島に生きる次世代につなぐ、地質学・地形学からの提言。					

NO	書影	著者	Product ID	〈早稲田大学ブックレット「震災後」に考える〉シリーズ No	底本刊行年月	フォーマット	同時アクセス1 本体価	同時アクセス2 本体価	同時アクセス3 本体価
		書名	ISBN	内容紹介					
14		稲継裕昭【編著】	KP00009401	14	201204	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		大規模災害に強い自治体間連携	9784657123046	3月11日16時30分。福井県では消防、防災ヘリ、DMATが出動準備に入った。京都府からは約400名の救助隊そして各府県から多くの人々が被災地に向け出発した。地域のきずなだけでは対応できない、危機における遠隔自治体からの支援のあり方を考える。					
15		土田健次郎	KP00009408	15	201204	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		「日常」の回復	9784657123138	壊滅した街の瓦礫の中で人びとは、前日までと同じように分けあい、助けあった。非常時にも日常の倫理を喪わない、日本人の心性の源泉を近世の儒学思想に求め、明日への生き方を確かめる。					
16		河野勝 小西秀樹 荒木一法 清水和巳 友利厚夫	KP00009404	16	201204	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		《当事者》としていかに危機に向き合うか	9784657123077	被災地の復旧・復興、原発事故への対処・管理など次世代・未来世代に影響が及ぶ重要な意思決定をいかに行うか。専門家は政策提言に際してどのような責任を負っているのか。					
17		中村民雄【編著】	KP00009406	17	201204	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		早く的確な救援のために	9784657123107	地震と津波による自治体機能の喪失、道路・港湾のインフラ破壊、そんな過酷な状況下でも素早く柔軟な救援活動を行ったボランティアたち。来るべき災害に備えて官民連携による初動体制の具体的モデルを提言。					
18		花田達朗 早稲田大学教育学部花田ゼミ【編著】	KP00009405	18	201205	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		新聞は大震災を正しく伝えたか	9784657123084	今までと同じゼミナールでいいのか—学生たちは大災害の衝撃にまっすぐに向き合おうと教授研究室を工房に変え新聞紙面に目を凝らし被災地の声に耳を傾け報道の実像を追った。					
19		香村一夫 名古屋俊士 大河内博	KP00009403	19	201206	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		東日本大震災と環境汚染	9784657123060	津波による土壌の塩害、地盤の沈下と液状化、建物取壊しに伴うアスベスト飛散のおそれ、福島第一原発からの放射性物質の拡散—。正しく安心し正しくおそれるために汚染の現状を報告する。					
20		三陸河北新報社	KP00009409	20	201206	PDF	¥2,799	-	¥4,198
		ともに生きた伝えた	9784657123145	最大被害地のただなかで。みずからも被災者として多くの死に向き合い、がれきとたたかい必死に生きて紙面をつくり、街のすみずみへ、避難所・仮設・各戸へ、ひたすら情報を届けつづけた日々の記録。					
21		松岡俊二	KP00009407	21	201207	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		フクシマ原発の失敗	9784657123121	政府・電力会社・経済界・学界・マスコミの対応の問題点はなにか、原子力の安全規制制度改革の問題点はなにか、社会科学の目を通じた徹底検証により安全な未来への方向を提示。					
22		鎌田薫【編】浦野正樹 岡芳明 鈴木興太郎 浜田政則【著】	KP00009410	22	201209	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		災害に強い社会をつくるために	9784657123152	科学者は信ずるに足りないか大学に何ができるか。会学・原子力学・公共哲学・防災工学の代表的研究者たちが自らを厳しく見つめ減災と危機復元力のために何が必要なかを考える。危機の時代に学問と大学の使命を問い直す、すべての人々へのメッセージ。					
23		村田晶子【編著】	KP00009411	23	201209	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		復興に女性たちの声を	9784657123169	避難所、仮設住宅、復興行政など復興に関わるあらゆる場面で女性たちの声がかき消されてしまっている。女性の声はなぜ聴かれないのか。災害・復興におけるジェンダーについて考える。					
24		多賀秀敏【編著】国際協力NGOセンター【著】	KP00009412	24	201209	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		あの日私たちは東北へ向かった	9784657123176	途上国を中心に海外で活動してきた国際協力NGO、東日本大震災発生の際には多くの団体が直ちに被災者支援を決定した。現場での苦勞の連続にもへこたれなかった彼ら。海外での経験はいかに活かされたのか、いまここに明らかになる。					
25		早稲田大学広報室【編】 佐野真一 後藤謙次 江川紹子 深川由起子	KP00009413	25	201211	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		ジャーナリズムの(いま)を問う	9784657123183	日本のメディアとジャーナリストは大丈夫なのか。東日本大震災に直面して彼らは何をいかに伝えたか。日本のジャーナリズムの危機を越えるために3・11後の“いま”何が必要なのか。論客たちが縦横に語り警鐘を鳴らす。					
26		岩手日報社編集局	KP00009414	26	201211	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		風化と闘う記者たち	9784657123190	大津波に消えたふるさとの街に立って岩手の記者たちは何を見たか伝えようとしたか。記憶を未来へつなぐジャーナリストたちの終わりなき闘い。					

NO	書影	著者	Product ID	〈早稲田大学ブックレット「震災後」に考える〉シリーズ No	底本刊行年月	フォーマット	同時アクセス1 本体価	同時アクセス2 本体価	同時アクセス3 本体価
		書名	ISBN	内容紹介					
27		齋藤純一 川岸令和 今井亮佑	KP00009418	27	201302	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		原発政策を考える3つの視点	9784657133014	この事故＝事件が私たちに突きつけている課題とは？住む＝暮らす場所を剥奪されるとは一体何を意味するのか。事故の実態について情報は自由に十分に伝えられたのか。原発政策をめぐる世論はどのように形成され、変わるのか。					
28		堀内正規【編】	KP00009419	28	201303	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		震災後に読む文学	9784657133021	東日本大震災の巨大な災厄に直面して、研究者たちは古今東西の文学の中に何を見出したか。早稲田大学文学部の大教室で、学生たちに語りかけ、共に考えた連続講義より。					
29		浦野正樹 野坂真 吉川忠寛 大矢根淳 秋吉恵	KP00009420	29	201304	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		津波被災地の500日	9784657133038	少子化高齢化・過疎化と戦う東北のまちとむら津波が襲った。生業を取り戻し、コミュニティーを再建し、より良い暮らしの明日を手に入れる可能性をさぐる。					
30		菊池馨実【編】 早稲田大学 菊池ゼミ福島大学 長谷川ゼミ【著】	KP00009421	30	201304	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		ふくしま・震災後の生活保障	9784657133045	社会保障法、労働法を学ぶ学生たちが福島の人々の生活実態を多様なテーマにわたり詳細にレポート。瑞々しい感性で問題の本質に鋭く迫る。					
31		辻内琢也【編著】	KP00009422	31	201305	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		ガジュマル的支援のすすめ	9784657133052	あの日から二年、癒えないところの傷。大きな木、小さな木、まっすぐな木、曲がった木、一本一本姿かたちが異なるガジュマルの木のように人のところもみんな違う。医療・心理・福祉の専門家が新たな個別的支援の手法を提言する。					
32		早田宰 加藤基樹 沼田真一 阿部俊彦	KP00009423	32	201308	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		ともに創る！まちの新しい未来	9784657133069	生鮮かつおの水揚げ日本一、人情味あふれる人々、まちと海が一体となった景観。このまちの魅力をいかし人々の暮らしを発展させるにはどうすればよいか、おしきせではない真の創造的復興を探る。					
33		中川武 日中共同ワークショップ編集委員会【編】	KP00009424	33	201310	PDF	¥2,200	-	¥3,300
		復興まちづくりに文化の風を	9784657133076	二〇一二年春、住民・行政も参加して岩手県大槌町で開かれた早大・清華大日中両大学によるワークショップ。対話・発見・提案の循環モデルで遅々として進まない復興の現状を打破する。					
34		松岡俊二 師岡慎一 黒川哲志	KP00009425	34	201312	PDF	¥2,799	-	¥4,198
		原子力規制委員会の社会的評価	9784657133083	安全のための規制組織はどのような能力と性格を備えていなくてはならないか。社会的能力・法制度・技術的能力と独立性・透明性・一元性の両面から原子力規制のデザインと実際の問題点を剔出する。					
35		松岡俊二 いわきおてんとSUN企業組合【編】	KP00009426	35	201312	PDF	¥2,799	-	¥4,198
		フクシマから日本の未来を創る	9784657133090	先の見えない避難生活、津波被災地の復興の遅れ、地域間・住民間の微妙なところの行きちがい。原発事故被災地の人々は、どのように障害を乗り越えようとしているのか。それを可能にする仕組みを、既存の制度や観念にとらわれず考える。					
36		早稲田大学マーケティング・コミュニケーション研究所【編】	KP00009434	36	201404	PDF	¥2,799	-	¥4,198
		大災害時に物流を守る	9784657143013	二〇一一年春 大震災直後の商業・運送業・公的機関等の痛切な経験から学び、過酷災害に対応できる物流の条件と天然ガス自動車普及の重要性と問題点を探る。					
37		浜田政則 樋口俊一 中村孝明 佐藤孝治 飯塚信夫	KP00009435	37	201409	PDF	¥2,799	-	¥4,198
		東京湾岸の地震防災対策	9784657143020	地震による地盤の液状化・側方流動・長周期振動、津波による油流出・海上火災。それらは、東京湾上に、臨海部に、そして周辺に巨大な被害をもたらす。備えは大丈夫か。社会と経済を守るためにどう備えればよいのか。					
38		早稲田大学・震災復興研究論集編集委員会【編】鎌田薫	KP00009442		201503	PDF	¥14,520	-	¥21,780
		震災後に考える	9784657150035	忘れない！学ぶ！行動する！私たちが4年間に考えつづけたこと。					